

徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校 総括評価表

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標（と活動計画）		評価	学校関係者の意見	
II 臨地実習での指導方法を工夫し支援体制を整備するとともに、看護師国家試験合格をめざす。	《全校レベル》 臨地実習において必要な基礎学力の充実を図り、生徒の力量に応じた個別指導に取り組み、看護師国家試験合格をめざす。 《下位組織レベル》 ①看護科と専攻科の連携を深め、臨地実習指導の充実を図る。 [看護科教員] ②実習時における個別・グループ別指導の充実を図る。 [看護科教員] ③臨床側指導者と密接な連携を図る。 [各施設担当者] ④国試演習の充実を図る。 [進路指導課] ⑤模擬試験の有効活用に取り組む。 [進路指導課]	評価指標	評価		実習前のゼミ、臨床指導者との連携、実習の振り返りと支援体制、実習内容ともに充実している。 また、5年一貫教育は、最年少で看護師免許を得るコースであるが、国家試験合格率100%と高い水準を維持できおり素晴らしい。 引き続き、生徒個々に対応した指導に取り組んでほしい。	
		①個々に応じた指導に取り組む。適切な資料の提供等生徒が実習しやすいような支援体制を整える。	実習中は個別指導を重視し、担当教員が連携し支援体制の充実を図った。参考図書等の資料整備も行った。	A		総合評価 A (所見) 臨地実習において生徒は全員、まじめに取り組むことができています。困難を感じる生徒もいるため個々の状況に応じて指導方法を工夫しました。実習中の学びを授業や演習に取り入れ意欲の向上を図ることもできました。
		②臨地指導者との連携を密にし、生徒の問題を早期に把握し適切に対処できる。	実習場のスタッフと密に連携を取り生徒の状況把握に努めた。気になる生徒については、個別面談等を行い、早期解決を図った。	A		
		③臨地実習終了後は、生徒全員に、実習場面の振り返りを行わせ、思考判断能力を育成する。	実習終了時点で、実習を振り返っての学びと反省をそれぞれに文章でまとめた。	A		
		④専攻科において、各模擬試験の有効活用を図り、必修問題8割、一般問題7割に満たない者は再試験を実施する。	再試験は、記述式問題や口頭試問を取り入れ、知識の定着に努めている。	A		
		⑤専攻科において、国試演習では看護師国家試験の出題基準を網羅し、内容の充実を図る。	教科の各領域で、出題基準を研究し、看護師国家試験演習に取り組んでいく。	A		
		活動計画	活動計画による実施状況			
		臨地実習を通して学びを深め、看護師国家試験に意欲的に取り組めるようにする。	臨地実習での経験を校内での授業や看護師国家試験過去問題と関連させ、意欲の向上につなげるよう努めた。			
		①校内の講義・実習と臨地実習との関連を図り、適切な教材の提供を行う。臨地実習事前レポート課題の内容を精選し、長期休業前に提示する。	病院や病棟の特徴に合わせ臨地実習の事前レポート課題内容について精選を図った。実習中も状況によって、課題を追加した。			
		②臨地実習中は随時、個別指導を行うとともに、専門書を活用させ、自ら学ぶ環境を整える。	実習中の記録指導において、文献を活用した根拠を持った記録が書けるよう個別指導を行った。			
③実習内容の報告を徹底し、生徒・教員間で連絡・相談を行う。	日々、報告・相談や情報共有の重要性について指導し、徹底を図った。					
④専攻科において、各模擬試験の得点率が、必修問題8割、一般・状況設定問題7割以上になるまで再テスト実施する。	再テストや口頭試問で不足している知識について個別指導をしている。					
⑤専攻科において、補習や国試演習は習熟度別等のグループに分け、個に応じた指導を行う。	習熟度別の2コースに分けることにより、より具体的な指導に繋がっている。					